

登録コード	HM134100	開講年度	2026				
授業題目	循環病態学特論					担当教員	新藤 隆行 他
英文授業名	Cardiovascular Research					副担当	櫻井 敬之・神吉 昭子
単位数	3	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1 年
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					循環器疾患の病態について理解し、研究を進めるに当たっての基礎知識を得る	
(2)詳細 /Detailed information							
(3)授業の概要 /Overview of course	循環器疾患は直接生命を脅かすために、診断・治療法が盛んに研究されてきた。しかしながら、生活習慣に関連した諸基礎疾患（高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満など）が素因となっていることは循環器疾患も例外ではなく、生体内恒常性維持のための調節システムの異常と、その修復過程の破綻が病態の本質をなしていると考えられる。病態の解明は、疾患の予防法や、新しい治療法の開発につながる。 本講義では、循環器疾患の分子メカニズムを、特に心脈管作動性物質とその活性制御システム、およびそれらによる心血管系の恒常性維持機構に注目して解説する。						
(4)授業計画 /Course plan	第 1 回－第 5 回 循環器疾患とそのメカニズムの理解 第 6 回－第 1 0 回 研究事例の調査 第 1 1 回－第 1 8 回 研究事例の報告 第 1 9 回－第 2 3 回 研究事例に関する議論						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	第 1 回－第 5 回 講義内容の理解度についてレポートおよび小テストを元に評価する 第 6 回－第 1 8 回 研究事例の内容の理解度を質疑応答を元に評価する 第 1 9 回－第 2 3 回 研究事例のレポートおよびプレゼンテーションの内容を元に評価する						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	テキストは使用しないが、配布するパワーポイント資料を用いて、事後学習を行うこと。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	旭総合研究棟2階203号室 循環病態学教室 （内 5117） にて、随時、質問、相談を受け付ける						
(8)授業の形式 /Course format	講義						